

平素より、本校教育活動にご理解・ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。第1回学校評価アンケートの結果をまとめ、学校運営協議会でもご意見をいただきましたのでお知らせします。これらの結果や皆様のご意見を踏まえ、今後の教育活動に活かしていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

第1回学校評価アンケート結果

児童・保護者・教職員が同じ項目について、児童は自分の行動について、保護者や教職員は、子どもへの働きかけについて実現度を振り返っていただきました。

観点



- 思いやりの心をもち、仲間とともに伸びようとする自律した砂川の子
- 夢に向かって自ら学び、他者と協働しながら高め合う砂川の子
- たくましい心と体を育み、「いのち」を大切にする砂川の子

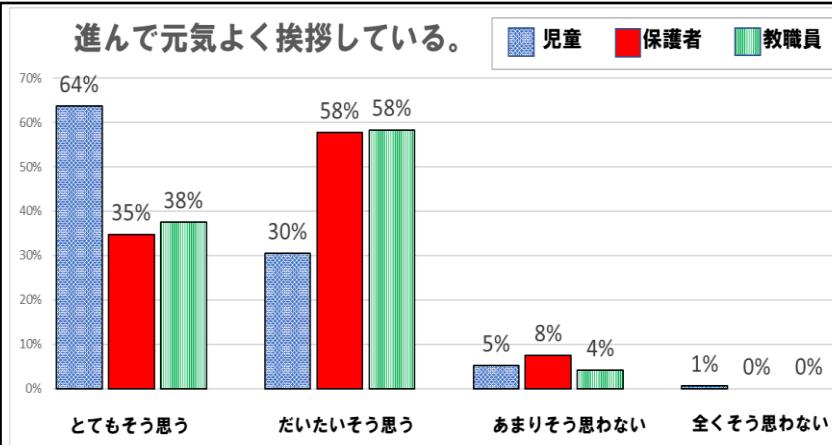
- (豊かな心) A
(確かな学力) B
(健やかな体) C

項目	質問内容	観点	児童実現度	保護者実現度	教職員実現度
生活について	進んで元気よく挨拶している。	A	94	92	96
	学校が楽しい。	A	96	99	100
	学校や学級のルールを守っている。	A	96	96	100
	友達と仲良くしている。	A	98	98	100
	ていねいな言葉づかいをしている。	A	85	85	96
	掃除や整理整頓をしっかりしている。	A	94	78	100
	進んで体を動かしている。	C	88	81	96
	早寝・早起きをしている。	C	83	87	88
	朝食を食べて登校している。	C	95	96	83
	自分の良いところが言える。	A・C	89	95	100
	困ったときは、学校の先生方に相談している。	A・C	86	96	100
	PTAや地域の行事によく参加している。	A・C	49	59	71
	インターネットやゲーム、SNSなどはルールを決めて使っている。	A・C	96	81	100
学習について	授業の内容がよくわかる。	B	96	86	100
	授業中、人の話をしっかり聞いている。	B	97	92	100
	友達と協力して学習をしている。	B	95	78	100
	宿題や家庭学習をしっかりしている。	B	96	90	100
	進んで読書をしている。	B	86	68	100
その他	学校での出来事を家族に知らせている。	A	85	93	79
	児童・保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している。	A・C		86	100
	学校いじめの防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めている。	A・B・C			100
学年担当	学年担当制になり、相談しやすい先生が増えた。	A・B・C	82	56	88
	学年担当制になり、学習することが楽しいと感じる。	A・B・C	87	62	83
	学年担当制になり、先生が交代することで不安や困りを感じる。	A・B・C	5	10	33

※実現度は「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせた結果

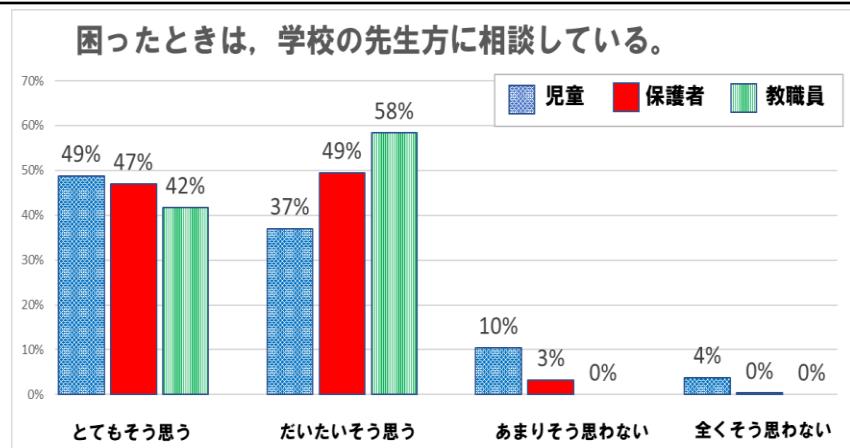
保護者の回答率 79%

【生活に関する実現度】



生活面ではほとんどの項目で80%を超える結果となりました。その中でも、『進んで元気よく挨拶している』については、児童の実現度が94%で、昨年度末に実施した学校評価アンケートより9ポイントも上昇しました。

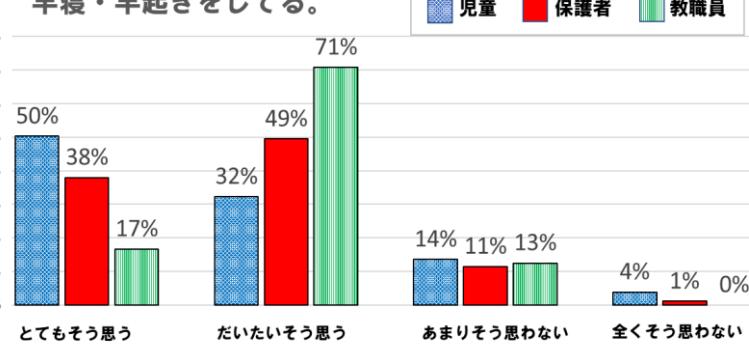
大人が率先してあいさつする姿を見せてることで、朝のあいさつだけではなく、校内ですれ違ったときや来校者などに対しても、相手を意識したあいさつを心がけている姿も見えるようになってきました。今後も、さらに相手に気持ちの届くあいさつができる子どもたちを育てていきたいと思います。ご家庭でもお声かけをお願い致します。しているところを見つけて認めていくことを大切にしています。保護者の皆様におかれましても、引き続き、ご家庭での声かけをよろしくお願いいたします。



生活面で児童の実現度が86%と3番目に低い項目ですが、昨年度末に実施した学校評価アンケートより11ポイントも上昇し、上昇率では一番の項目です。学校の新しい取組である「学年担当制」もあって、相談できる環境が増えてきていることや、児童の変化を複数の目で見ることですぐに気づける環境がふえているのではないかと考えます。

これからも、一人一人の子どもを大切にしていくために、子どもたちが、何に困っているのか、日々の様子やいじめアンケートから深く見取ったり、子どもたちが相談しやすい状況を作ったり、声かけをしたりしていくことで、子どもたちが安らげる学校にしていきます。保護者の皆様もお気づきの点がございましたら、学校までご連絡くださいますようお願いいたします。

早寝・早起きをしてる。

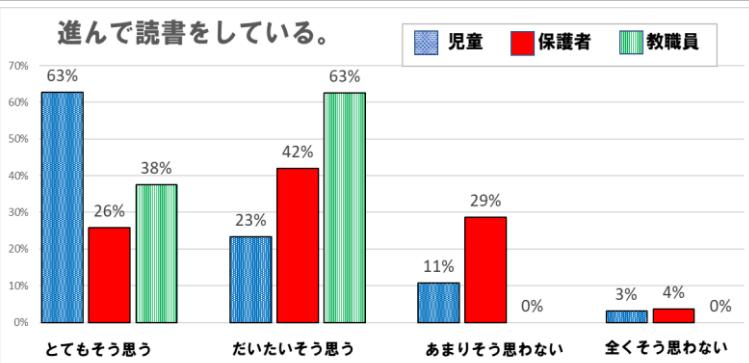


生活面で児童の実現度が83%と2番目に低い項目でした。また、「とてもそう思う」と回答した児童が50%ということからも、**半数の児童は早寝・早起きについて課題に感じている**ことが分かります。

早寝・早起きができるにくい原因として様々なことが考えられます。早寝・早起きをするメリットとして、夜の早い時間に寝ることで、成長ホルモンがしっかりと分泌され、骨や筋肉の発達を促したり、早寝早起きで十分な睡眠を確保することで、体力がつきやすくなったりするなどがあります。成長期の小学生にとって**早寝・早起きは多くのメリット**がありますので、ぜひ習慣化できるようにご家庭でもお声かけの方をよろしくお願ひいたします。

【学習に関すること】(実現度)

進んで読書をしている。



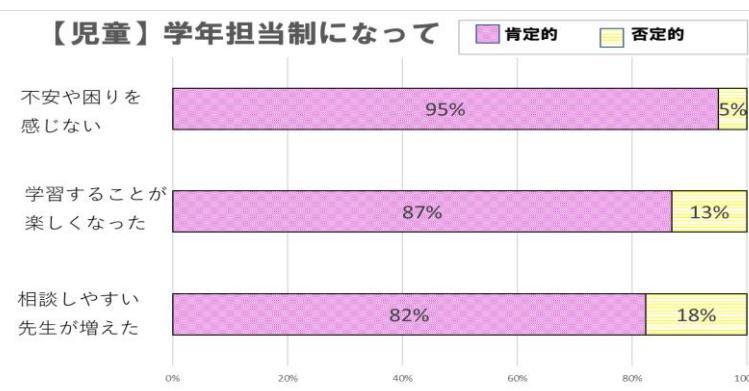
学習面で児童の実現度が86%と1番低い結果となりました。

学校では、毎日読書タイムを設けており、全ての子どもたちが読書をしています。また、今年度は司書の先生が常駐しているおかげで、毎日図書館を開館することができています。司書の先生と連携して、図書館での学習を多く取り入れ、児童の読書意欲を高めたり、読書の習慣が定着するようにしたりする取組を進めています。さらに、今年度は、家庭での読書習慣を身につけるために、**毎週金曜日の家庭学習（宿題）で読書を取り入れ**ています。どんなジャンルの本でもいいので、より多くの本を読み、語彙力や想像力を高めたらと思います。



【新しい学校の取組】(実現度)

【児童】学年担当制になって



今年度より学年担当制を取り入れ教育活動に取り組んでいます。新しい取組ということもあり不安な面もありましたが、「学年担当制に不安や困りを感じるか」という設問で、**不安や困りを感じないと回答した児童らは95%**という期待以上の結果でした。児童らにとって、担当が変わることで気持ちの切り替えができたり色々な教職員と関われたりすることがプラスに働いているのではないかと考えられます。一方で、相談のしやすさについて44%の保護者の方が困っている結果となりました。学校全体で**より連携を深め、どの教職員に相談してもよい環境**を整えていきたいと思います。

【保護者自由記述欄より】 抜粋

- いつも子ども達をあたたかく見守ってください、ありがとうございます。親としてこんな風になって欲しいという願いと現実とのズレがあり、葛藤の日々です。今回アンケートで問われた内容は非常に重要だと感じましたので、子どもへの声掛けの参考にさせて頂きます。ありがとうございます。
- 学年担当制になり、子どもはそれぞれの先生で学べるのでのびのび生活している気がしますが、相談するときにどの先生にするのか少し困ります。
- 従来の学校のやり方にとらわれず、世の中の流れや目の前の子どもたちを見て、学校の目的・目標に対し、最も効果的と思える手段にこれからも取り組んでいただきたいなと思います。子どもたちにも、ご指導いただく先生方にも、地域社会にも、三方よしの学校となっていただきたいと期待します。
- 担当制になり、子ども2人だと、先生4人になるので、困るほどではありませんが、保護者である私の方が、先生の認識不足を感じています。
- 諸々において先生間や、先生→児童→保護者間の共有ができないことがあるように思います。新体制になり、児童、保護者共に不安もたくさんあるように思います。

【学校運営協議会理事会】より

- 子どもは自分の話を聞いてもらいたい存在で、大人が子どもの話を聞くことができると、子どもに安心感や自信がつくと思う。話を聞く時間をたくさん設けることで子どもの自己肯定感にもつながるのではないか。
- 子どもたちに家庭学習の習慣が身についているように思うので、今後も継続してほしい。
- 「進んで本を読んでいる。」の児童の実現度が上昇しているのはすばらしい。学校では読む姿があるものの、家庭で読む習慣はまだまだに感じる。大人がどれだけ読む姿を見せるかも関わってくると思う。
- PTAや地域行事への参加が気になる。コロナの規制が緩和されてから様々な行事等が催しているのでたくさんの方に参加していただきたい。
- 学年担当制については関係者同士での情報共有ができるかが課題となるだろう。この仕組みは始まったばかりで、結果を問うには時間が必要。今後、様々なデータや声をもとに考え、改善していくことが大切だろう。



貴重なご意見をありがとうございました。ご多用の中、アンケートにご協力いただき、本当にありがとうございました。第2回目の学校評価アンケートも、Microsoft Formsでの回答となります。お手数をおかけしますが、お子様1人につき、それぞれ回答をいただきますよう、ご協力どうぞよろしくお願い致します。